

# 決算

## 一般会計から見る町の財政状況

わたしたちの生活に密接にかかわっている一般会計の決算状況を見てみましょう。

**歳入は約94億3千万円**

歳入は、皆さんが支払う町税、町が事業をするために借り入れる町債、地方交付税、国庫支出金や県支出金などが主なものです。

26年度の歳入総額は、94億2946万7千円で、前年度より10億7635万3千円増加しました。増加の主な理由は、県支出金、繰入金、繰越金、地方債の増加によるものです。歳入全体に占める町税、負担金や使用料などの自主財源（町が独自に調達できる財源）の割合は、41・4％で、昨

より2・5ポイント増加しています。町税は、入湯税でわずかながら増加しているものの、町税全体で0・7％、金額にして1370万円減収になりました。

**歳出は約85億9千万円**

26年度の歳出総額は、85億856万2千円で、前年度より9億9719万9千円増加しました。

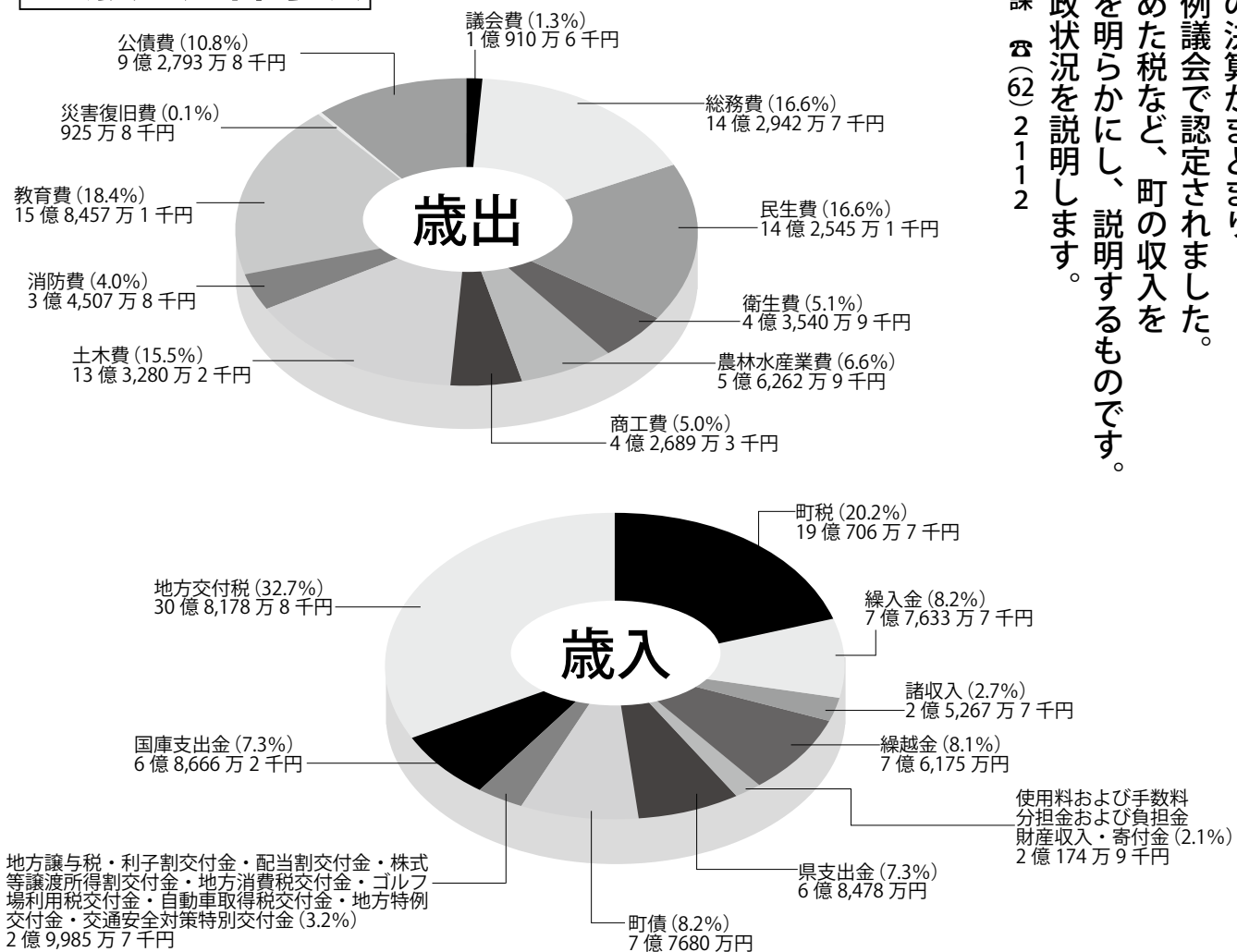
歳出の主な事業は、川西認定こども園整備事業、旧吾妻第2小学校屋内運動場耐震改修事業、防災行政無線設備更新事業、猪苗代町地域福祉交流センター耐震改修事業、道の駅整備事業などです。

地方公共団体における年度の財源の不均衡を調整するための基金である財政調整基金は、4億4940万円を繰り入れました。

このほど町の26年度の決算がまとまり、9月に開かれた町定例議会で認定されました。決算は、皆さんが納めた税など、町の収入をどのように使ったかを明らかにし、説明するものです。決算から見る町の財政状況を説明します。

【問い合わせ先】企画財務課 ☎(62) 2112

## 一般会計内訳



平成 26 年度歳入歳出決算額および対前年度比較表

区 分		歳入決算額	歳出決算額	差引額	歳 入		歳 出		25 年度	
					25 年度との比較	増減率	25 年度との比較	増減率	歳 入	歳 出
特 別 会 計	一 般 会 計	9,429,467	8,588,562	840,905	1,076,353	12.9%	997,199	13.1%	8,353,114	7,591,363
	猪苗代地区財産区	14,844	14,498	346	7,354	98.2%	7,551	108.7%	7,490	6,947
	翁島地区財産区	4,152	3,839	312	1,538	58.8%	1,667	76.7%	2,614	2,172
	長瀬地区財産区	16,552	16,337	215	6,626	66.8%	6,589	67.6%	9,926	9,748
	吾妻地区財産区	20,756	20,368	388	12,274	144.7%	12,302	152.5%	8,481	8,066
	国民健康保険	1,810,091	1,689,499	120,592	△ 74,667	△ 4.0%	△ 77,245	△ 4.4%	1,884,758	1,766,744
	簡易水道事業	0	0	0	△ 125,228	△ 100.0%	△ 125,228	△ 100.0%	125,228	125,228
	下水道事業	532,480	517,211	15,269	△ 176,130	△ 24.9%	△ 172,298	△ 25.0%	708,610	689,509
	特定環境保全下水道事業	152,624	143,844	8,780	△ 30,503	△ 16.7%	△ 28,769	△ 16.7%	183,127	172,613
	農業集落排水事業	145,309	141,120	4,189	△ 65,792	△ 31.2%	△ 58,350	△ 29.3%	211,101	199,470
	介護保険	1,498,566	1,483,817	14,749	60,226	4.2%	68,032	4.8%	1,438,340	1,415,785
	後期高齢者医療	165,082	163,024	2,058	4,973	3.1%	3,044	1.9%	160,109	159,980
	特別会計計	4,360,456	4,193,558	166,898	△ 379,329	△ 8.0%	△ 362,705	△ 8.0%	4,739,784	4,556,262
一般会計＋特別会計 合計		13,789,923	12,782,120	1,007,803	697,024	5.3%	634,494	5.2%	13,092,898	12,147,625

水道事業会計決算

( )内は前年度比率 単位: 千円

区分	決算額	区分	決算額
収益的収入	376,739 (26.38%)	資本的収入	55,848 (1697.49%)
収益的支出	511,699 (96.46%)	資本的支出	113,358 (124.43%)

\*資本的収支の不足額 5,751 万円は、内部留保資金などから補てんしました。

病院事業会計決算

( )内は前年度比率 単位: 千円

区分	決算額	区分	決算額
収益的収入	86,795 (△ 180.6%)	資本的収入	5,360 (△ 69.3%)
収益的支出	89,755 (△ 174.8%)	資本的支出	55,939 (△ 59.9%)

\*収支の不足額 5,353 万 9 千円は、基金から補てんしました。

## 財政指標から見る町の財政状況

地方公共団体の財政の健全化に関する法律（財政健全化法）に設けられた、4つの指標の状況を見てみましょう。本町の場合、実質赤字比率と連結実質赤字比率は、赤字ではないので、該当がありません。

**実質公債費比率は11・3％**

実質公債費比率は、町税や地方交付税などの歳入のうち、何％が借金の返済に使われているかを示すもので、過去3年間の平均値で示されます。町の実質公債費比率は、11・3％で、昨年より1・2％減少しました。26年度に町が借金の返済に充てた公債

### 町税の負担

町民の皆さんが26年度に負担した町税は、年間平均で1人当たり 119,901 円1世帯当たり 345,266 円となりました（国民健康保険税を除く）。

### 1人当たり町税負担の内訳

町民税	38,796 円
固定資産税	67,633 円
軽自動車税	2,260 円
町たばこ税	9,007 円
入湯税	2,205 円
国民健康保険税	93,491 円

※町民税負担の内訳は、27年3月31日現在の住民基本台帳人口15,315世帯数5,383世帯、国民健康保険税は4,179人で計算しています。

**将来負担比率は82・8％**

将来負担比率は、一般会計などの標準的な年間収入に対し、将来支払うべき実質的な借金の額がどのくらいあるかを示す割合です。町の将来負担比率は82・8％で、昨年より10・5％増加していますが、本指標の判断基準である早期健全化基準の350・0％を下回っています。

町では、財政健全化計画などを策定し、今後も経費の削減に努め、皆さんが安心して暮らせるまちづくりを推進していきます。